



# Bーぐる沿線協議会ニュース

第23号

令和2年10月発行 Bーぐる沿線協議会事務局 区民課コミュニティバス担当 03-5803-1387

新型コロナの影響で延期されていた沿線協議会が令和2年9月15日に開催され、令和元年度の運行実績等が報告されたほか、新路線の取り組み状況に関する説明がありました。

## Bーぐる乗車人数は前年並みの93万人。3月は新型コロナの影響も

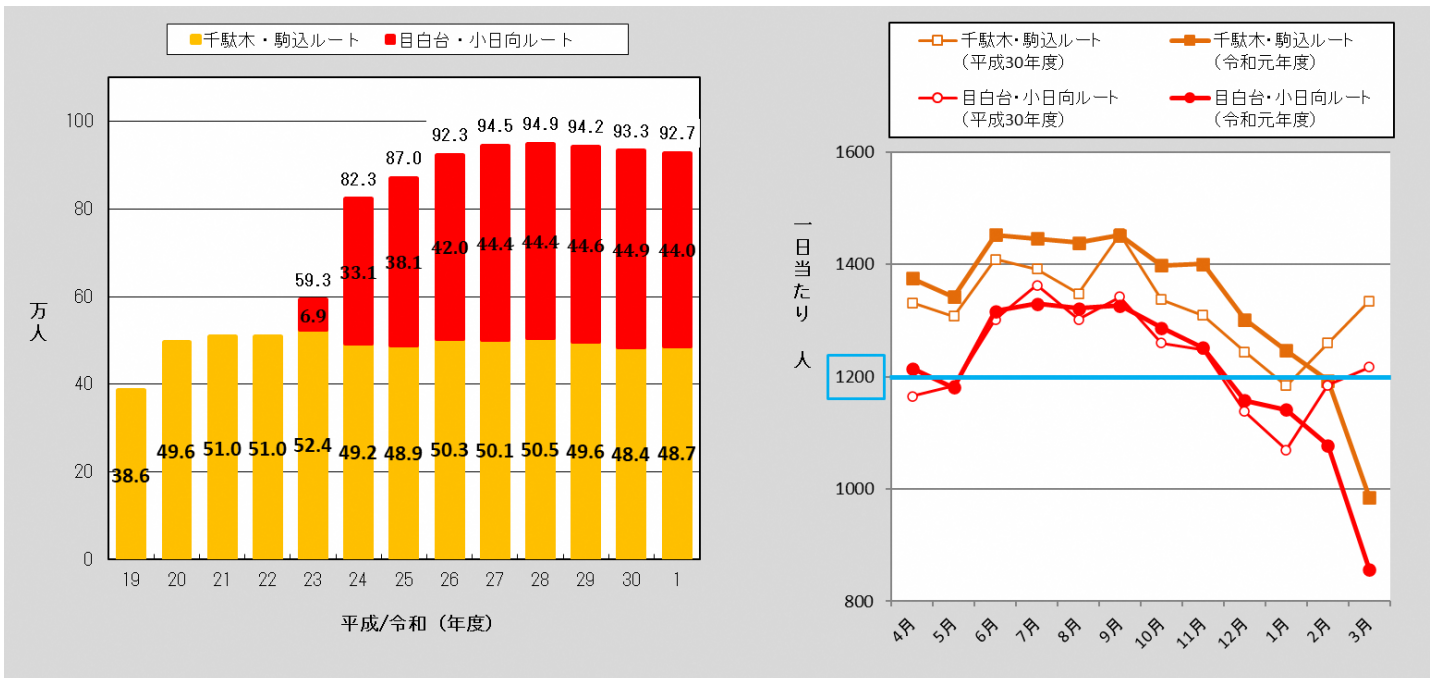
最初に事務局から、令和元年度乗車人数が千駄木・駒込ルート 487,564人、目白台・小日向ルート 439,811人、合計927,375人、前年度から6,128人(▲0.7%)減少したことが報告されました。ルート別では千駄木・駒込ルートが3,530人の増加に対し、目白台・小日向ルートが9,658人の減少でした。

月別の乗車人数には大きな傾向の変化は見られませんが、既に3月の段階で新型コロナの影響が出始めていることがわかります。さらに緊急事態宣言期間の4、5月は例年の6割減と大きな減少とな

り、7月、8月においても約3割減と本格回復には程遠い状況であることが報告されました。

続いて運行事業者である日立自動車交通から令和元年度決算に関する報告がありました。営業収入は、千駄木・駒込ルートは微増、目白台・小日向ルートは微減でしたが、営業経費の面では修繕費の増加が大きかったこと、また今期の特殊要因として、次世代IC対応運賃箱を導入した経費を計上したと説明がありました。

Bーぐるの乗車実績の推移(左)と月別乗車実績(平成30・令和元年度)



## 沿線ニーズ調査をもとにルート案を作成、関係機関との調整へ

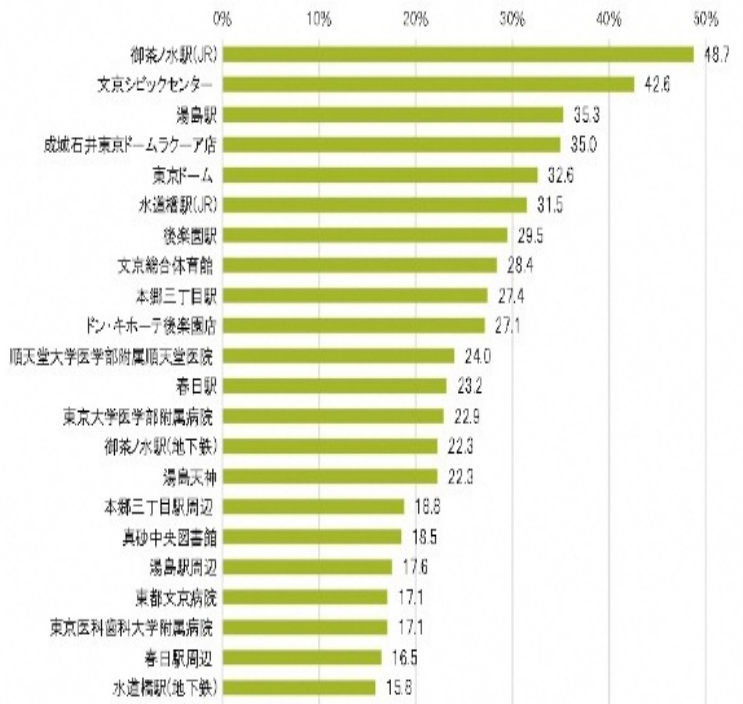
次に、本郷湯島地域に導入予定の新規路線に関するニーズ調査の結果報告と、第三路線の運行事業者が既存路線と同じ日立自動車交通株式会社に決まったことについての報告がありました。ニーズ調査結果で

は、今後コミュニティバスを利用して行けると良い・便利と思う場所の上位には、御茶ノ水駅(JR)の48.7%を筆頭に、文京シビックセンター(46.2%)、湯島駅(35.3%)等が挙がっています。

今後の進め方として、運行事業者から提案のあったルート案を基本に、区におけるコミュニティバスの基本的な考え方やニーズ調査の結果を加味しながらルート案を作成し、その案をもとに警察等関係機関との協議を行った後、ルートが固まり次第、議会に報告というスケジュールとの説明がありました。



## コミュニティバスを利用して行けると良い・便利と思う場所



資料：文京区コミュニティバス新規路線ニーズ調査報告書（令和元年11月）

## 新しい生活様式に対応した1000万人記念イベントを提案

最後に、Bーぐる友の会を代表して鈴木委員から令和2年度の活動計画について説明がありました。

毎年夏休みに開催していた親子洗車ツアーが今年は新型コロナの影響で開催することが出来ず、その一方で本年8月にBーぐるの累計乗車人数が1,000万人を突破という節目を迎えることから、リモートでも実施可能なイベントとして考えたのが「Bーぐる presents ありがとうリレー」です。

このイベントでは、身近な人への感謝のメッセージを書いたボードを持ってバス停の前で撮った写真を募集しています。Bーぐる友の会ホームページから写真を送ると、Bーぐるの車内モニターで放映されるというものです。「今回初めての試みでもあり結果はわかりませんが、皆様のご参加をお待ちしています」との呼びかけがありました。

現在、友の会のホームページや facebook では募集を受け付けているほか、今後区報の掲載やCATV

でも取り上げる予定であり、どこまで応募が集まるか期待されます。

**B-ぐる PRESENTS**  
「利用者1,000万人達成記念 ありがとうキャンペーン」  
バス停の前で撮って、送って、記念乗車券をもらおう。  
<https://www.b-guru.tokyo> 締切：2020年10月31日（土）

# バス停の前で 写真を撮って ほしい理由。

「100万人の  
ありがとう」

主催：B-ぐる沿線協議会・B-ぐる友の会

ありがとうリレーの告知チラシ

### 編集後記

コロナに明け、コロナに暮れた一年が終わろうとしています。これまでの当たり前がそうではなくなる現実に直面している中でも、毎日Bーぐるを安全・確実に運行して下さる運転手さんを始め、運行事業者の方々には本当に頭が下がる思いです。(N)